

2010年3月11日  
野村不動産株式会社

報道関係者各位

## 野村不動産がメーカーと共同開発 白熱灯・蛍光灯・LED 電球に対応 マンション用マルチランプダウンライトが「JAPAN SHOP SYSTEM AWARDS 2010」優秀賞を受賞

野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区 取締役社長:鈴木弘久)が、白熱灯から蛍光灯・LED 電球への普及促進のためマンション向けに開発した「マルチランプダウンライト」が、このたび財団法人店舗システム協会が主催する「JAPAN SHOP SYSTEM AWARDS 2010」優秀賞を受賞しました。

「JAPAN SHOP SYSTEM AWARDS」は、本格的な情報社会を迎え、あらゆる産業が劇的に変化する中で、生活者視点で活用できる技術・ソリューション等が増大することを願い、新発想の技術・商品やサービスなど先進的なビジネスデザインや事例を表彰し、普及啓蒙・社会の向上に貢献することを目的に2003年に設置され、今年で8回目を迎えます。

### 〇「マンション用 電球どれでもOKマルチランプダウンライト」開発の経緯

当社は住まいのブランド「プラウド」において、快適な住まいと環境との調和を目指す環境コンセプト「プラウドエコビジョン」を策定しています。

「プラウドエコビジョン」では、照明器具をマンションにおける重要な省エネアイテムのひとつとして位置付けており、当社独自の取組みとして国内電気メーカー(東芝ライテック(株)・(株)遠藤照明・ヤマギワ(株)・(有)ロイヤル九谷薩摩等)とマンション向け「マルチランプダウンライト」を共同で開発しました。従来のダウンライト器具では対応できるランプ(電球)に限られていましたが、今回開発したダウンライトは、省エネ効果の高い電球型蛍光灯はもちろんのこと、将来的に普及するであろう LED 電球にも対応できます。また従来製品より寸法・高さ・開口部をコンパクトにすることでデザイン性にも配慮しています。

本ダウンライトは、既に2010年2月発売の「プラウドシティ池袋本町」(東京都豊島区:総戸数785戸)、3月発売予定の「プラウド新浦安パームコート」(千葉県浦安市:総戸数550戸)での導入が決定しており、今後は、省CO2対策としてマンション住戸内ダウンライトの標準化を図ってまいります。

### 【プラウド新浦安パームコート導入事例】

#### パームコートでは マルチランプ ダウンライト(東芝ライテックとの共同開発)

従来のダウンライトは奥行が浅いため、省エネタイプの蛍光灯を取り付けると天井からはみ出してしまいました。マルチランプダウンライトは奥行を深くし、ランプ口金もE17に統一したため、CO2の削減に貢献する省エネの蛍光灯・LED電球をはじめ、様々なタイプのランプを、天井からはみ出しなどを気にすることなく選ぶことが可能になりました。

※キッチン・玄関・洗面は100w相当用(大口径タイプE26)を使用しています。

従来の  
ダウンライト

マルチランプ  
ダウンライト

1 電球には色々な種類があります。

- クリプトン球
- ミニレフ球
- 電球型蛍光灯
- LED電球

2 最近「省エネ」「省コスト」の電球型蛍光灯が注目されています。

消費電力比較

クリプトン球	ミニレフ球
60w	54w
電球型蛍光灯	
14w・15w	

電球型蛍光灯の消費電力が1/4に!

3 しかし、蛍光灯は長いので、ミニクリプトン球、ミニレフ球用のダウンライトに入れるとはみ出してしまいます。

蛍光灯を使うようにすると口径が大きくなり、インテリア的には美しくありません。

95mm

4 プラウドオリジナル

そこで、東芝ライテックと共同開発したのがマルチランプダウンライト。

いいこと① 奥行を深くしてあるので、蛍光灯が飛び出さない

いいこと② デザイン性を考慮し、小口径化

95mm

140mm

一般的なダウンライト

マルチランプダウンライトは使用するランプを選べます。今までは出来なかった、使用場所によりお好みのランプで雰囲気を変えることも可能に!

《参考写真: 東芝ライテック製マルチランプダウンライト》



近年、環境に対する関心が高まるなか、野村不動産では、「住まう人の心地よさを追及しながら、自然と調和していくこと。そして社会全体のエコにつなげること。」という「プラウドエコビジョン」に基づき、常に新しい発想で、住まう人が誇りに感じられるマンションを今後も提供してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ窓口  
野村不動産株式会社 広報部(石川・柿原)  
TEL03-3348-7805・FAX03-3343-0445